

羽島市公共下水道事業経営戦略（見直し）の概要

1. 経営戦略について

（1）経営戦略とは

将来にわたって安定的に継続していくため、投資と財源を財政収支により予測し、改善すべきポイントを把握することによって、その対策を立案し、実施すべき取組を推進することで、中期的な視点から持続的な経営基盤強化を目指すものです。

（2）経営戦略策定の経緯

当市の下水道事業は、平成 2 年度に事業に着手し現在も下水道施設を拡大整備中です。そこで、令和 2 年度から公営企業会計に移行し、財政の見える化を図るとともに、健全で効率的な経営を実現するために経営戦略を策定しました。経営戦略の策定から 5 年が経過し、当初の策定時とは下水道使用料の改定を行ったことや社会情勢等の状況が大きく変わっていることから、これらに対応した経営戦略とするため、令和 2 年度から令和 11 年度までを計画期間とする経営戦略の見直しを行うものです。

2. 下水道事業の現状

（1）公共下水道の整備

効率的な污水处理施設整備を目指し、現在は市街化区域の施設整備を進めています。
令和 5 年度末の整備面積は 1064.1ha で、全体計画に対する整備率は 70.8%となっています。

（2）人口

令和 5 年度末の下水道を使用できる人口は 35,560 人で、人口普及率は 53.5%となっています。将来の行政人口は減少傾向にありますが、下水道を使用できる人口が整備拡大の効果により、令和 11 年度には 39,288 人に増加する見込みです。

（3）有収水量と使用料収入

下水道整備を進めることにより、有収水量及び使用料収入は増加していきますが、使用料は事業の財源として経営の大きな基盤であることから、今後も収入の確保を図る必要があります。

（4）施設の老朽化

管路施設は全て経過年数 40 年未満ですが、将来的には点検・調査を行い施設の改築及び適正な維持管理が必要となります。浄化センター施設は供用開始から 20 年以上経過しており、設備の効率的な再構築が求められます。これらを踏まえ、ストックマネジメント計画によって、リスク評価等による優先順位付けを行った上で、施設全体を対象とした施設管理を最適化します。

（5）経営指標：令和 5 年度の数値と見込値(令和 11 年度)

- 整備率：70.8% （80.9%）
羽島市污水处理整備構想に基づき、整備率の向上が必要です。
- 水洗化率：72.1% （75.0%）
供用開始の遅れから水洗化率が低く、事業の独立採算制を支えるためにも向上するよう努力が必要です。
- 経費回収率：100.0% （100%）
100%を今後も維持するために、水洗化率の向上及び支出の抑制に取り組みます。
- 起債残高：12,145 百万円 （13,311 百万円）
将来の元金償還のために資本費平準化債を活用し、財源の確保が必要です。

3. 経営の基本方針

「生活環境の改善及び水質保全の役割を担う下水道サービスを持続的かつ安定的に提供するための経営基盤の強化」を基本方針とします。

4. 課題と取組

（1）経営基盤の強化

安定的な下水道事業の経営を持続するため、水洗化の促進や受益者負担の適正化を図るとともに、効率的な組織整備及び経営力の高い人材育成に努めます。

（2）投資の合理化

ストックマネジメント計画に基づき、管渠や浄化センターの改築、更新を計画的かつ効率的に進めます。

（3）危機管理体制の強化

自然災害や事故等に備えて、B C P の見直しを行い有効に運用するとともに、高い危機管理能力を備えた職員の養成に努めます。

5. 財政収支の見通し

（1）料金収入：R2～11 合計 42 億 74 万円

水洗化促進の取組を継続的に実施することにより、令和 11 年度の料金収入を 4 億 9,963 万円と見込みました。

（2）建設改良費：R2～11 合計 135 億 9,180 万円

面整備事業については、令和 7 年度から 11 年度までに整備面積 117.4ha 見込みました。
浄化センターについては、既存施設の改築更新に加え、汚水量増加に伴う水处理施設の増設を見込みました。

（3）起債償還金：R2～11 合計 95 億 7,614 万円

令和 6 年度をめぐりに起債償還金は減少する見込みです。

		経営戦略期間における収支										（単位：百万円）	
収益的 収支	収入	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	合計	
	支出	1,812	1,488	1,358	1,434	1,488	1,474	1,517	1,554	1,580	1,623	15,328	
	収支差引	1,427	1,432	1,311	1,289	1,422	1,471	1,514	1,553	1,579	1,622	14,620	
資本的 収支	収入	385	56	47	145	66	3	3	1	1	1	708	
	支出	1,172	848	1,526	2,199	1,900	2,279	2,270	1,630	1,723	1,594	17,141	
	収支差引	1,765	1,513	2,001	2,741	2,539	2,895	2,835	2,196	2,374	2,309	23,168	
		△593	△665	△475	△542	△639	△616	△565	△566	△651	△715	△6,027	

6. 経営戦略の進捗管理

（1）経営戦略の事後検証

毎年度、各種経営指標の動向に留意しつつ、PDCA サイクルを用いて経営戦略の進捗を検証します。

（2）経営戦略の更新

地方公営企業として独立採算性を確保するため受益者負担の適正化についても検討し、使用料改定の必要性の検討など 5 年ごとに見直しを行ってまいります。